

学校の詩

うた



学校の教育目標

自律貢献

文責：教頭 藤田天平

◆筑紫区中体連総合体育大会結果

6月26日(土)から始まりました筑紫区中体連総合体育大会が全て終了しました。梅雨時期の開催でしたので、雨の中での試合もありましたが、大きなケガや事故等もなく、無事に日程を終えることができました。

本校の結果は右図に示したとおりです。残念ながら筑紫区で敗退した部も、御陵中生らしく礼儀正しく、爽やかな表情で、最後まで全力でプレーしてくれました。試合ですので勝敗はついてしまいましたが、勝敗を超えた多くの感動を全身で伝えてくれました。筑前大会に進出を決めた部、個人は筑紫区の代表として、また、敗退した学校の思いも背負って、正々堂々と試合に臨んでほしいと思います。

筑前大会も頑張ります！

筑紫区中体連総合体育大会結果			
競技名	結果等	競技名	結果等
野球	5位決定戦で惜敗	陸上 7月22日筑前	岩下 勇生 2年1500m 13位で筑前大会進出
ソフト 7月17日筑前	筑紫区3位で筑前大会進出	剣道 7月21日筑前	浦田 晶歩 個人戦7位 で筑前大会進出
サッカー	予選トーナメント2回戦惜敗	水泳男子 7月21日筑前	大村 海豊 1500m自由形 2位で筑前大会進出
男子バスケット	予選トーナメント1回戦惜敗	水泳女子 7月21日筑前	福富 志真 100mバタ、10 0M背泳ぎ優勝で筑前大会進出
男子バレー	決勝トーナメント1回戦惜敗	卓球男子	山口 悠斗 個人戦3回戦惜敗
女子バレー	予選リーグ惜敗	卓球女子	古賀 妃那乃 個人戦3回戦惜敗
		バドミントン	河野 咲希 個人戦1回戦惜敗
		吹奏楽	7月27日(火) サンパレス

※硬式テニスは筑前大会(7月17日)から始まりです

保護者の皆様におかれましては、これまで本校部活動へ多大なるご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。残念ながら筑紫区大会は無観客での開催となりましたが、どの部も大変立派な試合をし、これまで支えていただいた保護者の皆様へ「感謝の気持ち」を届けてくれたのではないかと思っております。筑紫区大会を終えて藤井校長からの言葉です。(御陵中HP「校長のひとりごと」より)

昨日で、筑紫区中体連の大会がすべて終了しました。引退となった3年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。ここまで頑張ってきたことを誇りにしてください。そして、次の目標へ向けて、粘り強く、努力を続けてほしいと思います。

また、これまで支えてくださった保護者の皆様の多大なるご協力とご支援に心から感謝いたします。本当にありがとうございました！

筑前地区大会に進む生徒の皆さんは、御陵中の代表として、筑紫区の代表として、最高のパフォーマンスを発揮してさらに上を目指してください。

◆御陵中生徒会の取組 「世界貢献運動」を7月15日から始めます。

本校では生徒会が中心となってペットボトルキャップ回収や豪雨災害義援金募金活動等を行っています。これらの活動を総称して、本校では「世界貢献運動」と呼んでいます。今回は7月15日(木)から20日(火)までペットボトル回収運動を行います。生徒会が考える回収の目的は以下のとおりです。

- エコキャップ運動をとおして、地域の活性化、地球環境保護、福祉活動、世界情勢等に関心をもち、地域・社会に貢献し、活躍できるようになるため
- 周りの人への思いやりや目配り・気配り・心配りができ、相手意識をもって行動できるようになるため

この取組は2015年の国連サミットで採択されたSDGsにつながるものです。SDGsとは国連加盟193か国が15年間で達成するために掲げた目標「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。生徒会の取組をとおしてSDGsを身近な取組として感じてもらえたらと考えております。集めたペットボトルキャップはリサイクル業者に買い取っていただき、対価をワクチン支援を含めた開発途上国支援活動に寄付していきます。(これらの活動はイオン株式会社に協力していただいております)ご家庭におかれましては、この機会にお子様と活動の意義についてお話しいただき、ご協力いただけると幸いです。

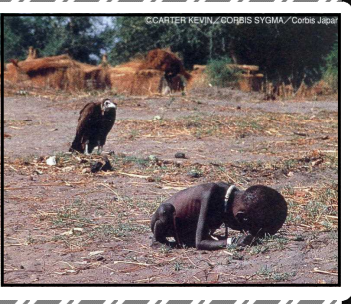


「虫の目 鳥の目 魚の目」

【教頭コラム】

「世界の子どもたち」

10年越しの内戦(政府軍と黒人による反政府ゲリラ組織の対立)が続いたアフリカ北東部のスーダンでは数百万人が家を追われ『難民』となった。ケニア国境に近いジュバという都市には14の難民キャンプがあり、数十万人が生活している。戦争や病気で両親を失った孤児たちが収容所に入らずに1万人もの孤児が町にあふれているところもある。また、ある村では、栄養失調でよろよろと歩く少女の背後から、ハゲワシがその死を待つかのようにねらっている光景すら見られた。『ビジュアル公民2008』より



現在、日本では年間約2800万トンの食品廃棄物を排出しているそうです。このうち本来食べられるのに廃棄されているもの、いわゆる「食品ロス」は年間に500~800万トン含まれると推計されています。これを日本人1人あたりに換算すると、毎日おにぎり2個分を捨てているという計算になるのだそうです。ちなみに年間500~800万トンは世界の国々が食料不足の国に援助している量の約2倍だそうです。

バングラデシュでの食事

インディカ米にしては腰がない。チリリと舌先が酸っぱい。水っぽい。それでも噛むほどに甘くなってきた。お米文化はやっぱりいい、とうなずきつつ、二口、三口。次に骨付き肉を口に運ぼうとした。すると突然「ストップ!」という叫び。
「それは、食べ残し、残飯なんだよ。」
たどたどしい英語が続いた。よく見れば肉にはたしかに他人の歯形もある。ご飯もだれかの右手ですでに押ししごかれたものらしい。・・・
うっ、とうなって、皿を私は放り出した。とたん、ビーフジャーキーみたいに細い腕がニョッと横から伸びてきて、皿を奪い取っていった。10歳ほどの少年だ・・・。
忠告の主は、・・・「ダッカには金持ちが残した食事の市場がある。残飯市場だ。卸売り、小売りもしている」という。口に酸っぱい液がどくどく湧いてきて、私はしきりにつばを吐いた。東京では日々、50万人の食事量に匹敵する残飯が無感動に捨てられているということではないか。ダッカでは残飯が人間の食料として売られているのだ。
辺見庸『もの食う人びと』より

3年生の社会科公民分野では、国際社会における貧困の問題や飢餓の問題を学習します。世界全体では約10人に1人が1日1.9ドル未満で生活する厳しい貧困状態にあります。(2015年)もちろん日本においてもコロナ禍で貧困の問題はますます深刻化しています。「世界貢献運動」の中でSDGsの話を取り上げましたが、この貧困問題の解決も目標の一つとして挙げられています。現在、世界では5秒に1人、1日に2万5千人が飢餓あるいは飢餓に関連した病気で、命を落としています・・・。そしてそのうちの4分の3が5歳未満の子どもです。これが現実なのです。
ご家庭におかれましては、ぜひこの機会に、身近にある問題として「食」や「貧困」を取り上げ、お子様と話されてみてはいかがでしょうか。

◆お知らせ

7月20日が1学期の終業式、21日から夏休みに入ります。福岡県のまん延防止措置が解除され、家族旅行や帰省等を計画されている方もおられるかと思えます。しかし、全国的にはまだまだ感染が落ち着いていない状況が見られます。外出の際にはマスクの着用と手指の消毒等をこまめに行っていただき、感染症予防に努めていただきますようお願い申し上げます。もし、夏休み中にPCR検査等を受けられる場合は学校へご連絡ください。なお、土日及び学校閉庁期間(8月10日~8月13日)につきましては大野城市役所にご連絡ください。

